

めざせ世界遺産登録 あなたも参加団体で活動しませんか？

ステッカーで世界遺産登録をアピール

鎌倉食品衛生協会

鎌倉食品衛生協会は、昭和 28 年 10 月に設立された食品営業関係者の由緒ある団体で、会員数は約 1400 で、41 の組合が組織されています。協会の使命は、鎌倉地区にお住まいの方や観光に訪れる方々の食の安全・安心を確保することに他ならないと考えており、衛生管理の向上に取り組んでいます。

また、食品衛生知識の普及を図る重要な事業として、毎年、食中毒予防キャンペーンを開催しており、本年は、大船駅コンコースにおいて食中毒予防の大切さを道行く人々に訴えました。

協会では、食の安全・安心を推進する証として作成した加盟店ステッカーに「武家の古都・鎌倉」のシンボルマークを描き、「世界遺産をめざす町」というメッセージを表示して、鎌倉の世界遺産登録を応援しています。

世界遺産登録推進協議会の委員をつとめる柿澤会長は、「食の安心・安全と古都鎌倉の世界遺産登録を両輪として、協会の皆さんとともに実現したい」と、協会の先頭に立って頑張っておられます。



「武家の古都・鎌倉」のシンボルマークをあしらった加盟店ステッカー

鎌倉の歴史を見つめ登録推進に協力

江ノ電沿線新聞社

江ノ電沿線新聞社は、100 年を超えた歴史を持つ江ノ電の沿線住民を対象にした鎌倉・藤沢エリアのユニークなコミュニティ紙として昭和 51 年に創刊されました。この新聞は地元の歴史や文学、それに自然などを見つめて参りました。とりわけ内海恒雄氏による「江ノ電沿線・歴史散歩」は今年の 9 月号で 333 回目を数え、詳細・厳密で身近な歴史書として好評を頂いております。また、折に触れて座談会を開き、様々なテーマについて、関係者に語り合っており、鎌倉の「世界遺産」につきましては平成 17 年新年号の新春対談で「鎌倉の世界遺産登録をめざして」と題して鎌倉市長石渡徳一氏と内海恒雄氏との対談をお願いし、いろんな角度から語り合っていました。この記事につきましては多くの反響を頂きました。内海恒雄氏の案内で源頼朝ゆかりの史跡めぐりも行われ、鶴岡八幡宮などの世界遺産候補地もめぐっています。

社長の吉田さんは「これからも鎌倉の世界遺産登録に関心を払い、その推進に協力して参ります。」と抱負を語ってくれました。



史跡めぐり・鶴岡八幡宮にて

古都鎌倉の世界遺産登録って

なに？

第12回 浄光明寺はどんなところ？

浄光明寺は、建長三年（一二五一）に、第五代執権北条時頼と第六代執権長時により創建され、浄土・華嚴・真言・律・天台・禅など諸宗兼学の道場であり、中世鎌倉における仏教教学研究の中心の一つとなりました。

寺院には、元弘三年（一一三三）から建武二年（一一三五）の間の制作とされる「浄光明寺敷地絵図」が残り、境内周辺に最後の執権北条守時や北条氏得宗家の館などがあったことや、今も残る土地の形状が鎌倉時代からのものであることがわかります。

境内では収蔵庫の新築に伴う発掘調査が昭和六十二年に実施され、「敷地絵図」に描かれた慈光院の御堂に相当する可能性がある礎石建物が確認されました。平成十三年には、境内北東側の尾根上で発掘調査が実施され、「敷地絵図」に描かれた経塚の存在を裏付ける常滑産大甕が出土しています。

また、境内には冷泉為相墓があります。為相は境内北側の藤ヶ谷に住み、武家に和歌・連歌を教授して鎌倉歌壇を隆盛に導き、嘉暦三年（一一三二）に鎌倉で没したといわれています。

このように、浄光明寺は、武家政権の政権担当者の学問・教養・精神などの修行の場であったことを今に伝える寺院であり、武家文化の成立と発展を示す重要な遺産であることから、世界遺産の候補地となっています。



Event! the 世界遺産

武家の古都・鎌倉 連続シンポジウム 19

北鎌倉の文化資産と周辺のまちづくり

大佛次郎が鎌倉の門と称えた北鎌倉周辺は、緑の山と花々、多くの寺院、そして鎌倉街道のまちなみなど、今も古都らしい雰囲気を漂わせています。市民達も匠の市を開いたり、鎌倉市の景観計画で定めた建物の高さ制限 15m を 12m にする提案をしたり、まちづくりについて高い意識を持つ地域です。午前は北鎌倉の寺院門前を含むまちなみ見学ツアー、午後はシンポジウムを開く予定です。どうかご期待ください。

- と き** 平成 21 年 12 月 5 日(土) まちなみツアー(午前): 10 時～12 時
シンポジウム(午後): 東慶寺 1 時 30 分～4 時 30 分 於: 東慶寺
- 主 催** 鎌倉の世界遺産登録をめざす市民の会 **共 催** 鎌倉世界遺産登録推進協議会
- 参 加 料** 500 円(参加イベントに関わらず一律) **定 員** 80 名(先着順) **締 切** 平成 21 年 12 月 4 日(金)
- 申込方法** 住所、氏名、電話、ファックス番号を記入して、往復ハガキまたはファックスで下記へ
- 申込先・問合せ先** 〒248-0012 鎌倉市御成町 9-1 鎌倉風致保存会内 鎌倉の世界遺産登録をめざす市民の会事務局
電話 0467-23-6621 FAX. 0467-23-6631

玉縄城築城 500 年祭 実行委員会

発会式と記念講演会

玉縄城は平成 24 年に築城 500 年を迎えます。これを記念した「玉縄城築城 500 年祭」の実行委員会の発会式と音楽会、後北条氏をテーマにした記念講演会を開催します。

- プログラム** 発会式、音楽会(清泉女学院中学高等学校 管弦楽部)
記念講演会: 基調講演「後北条一族の戦さと暮らし」/ 鳥居和郎(神奈川県立歴史博物館 専門学芸員)
シンポジウム 武家の古都鎌倉に「後北条氏が遺したもの」
コーディネーター: 伊藤一美(NPO 法人鎌倉考古学研究所 監事)
パネラー: 鳥居和郎(神奈川県立歴史博物館 専門学芸員)、山口 博(小田原市 学芸員)、真鍋淳哉(青山学院大学 講師)
- と き** 平成 21 年 11 月 22 日(日) 午後 1 時～4 時 10 分 **と ころ** 清泉女学院中学高等学校 講堂
- 主 催** 玉縄城址まちづくり会議、500 年祭準備委員会 **共 催** 鎌倉世界遺産登録推進協議会
- 後 援** 鎌倉市、鎌倉市教育委員会 **協 賛** 玉縄自治町内会連合会、清泉女学院中学高等学校
- 参 加 料** 500 円(学生無料) ※事前申込は不要です。
- 問合せ先** 玉縄城址まちづくり会議 事務局(電話: 0467-45-7411)

第 3 回ワークショップ『みんなで考えよう「どう守る 私たちの世界遺産」』は好評のうち終了しました。概要は次号に掲載予定です。

EDITOR'S NOTE

二回の国際フォーラムで、世界遺産登録には鎌倉の価値とそれを守り抜く市民の活動が不可欠であることを改めて知らされ、世界遺産登録もようやく市民のものが実感できたことは、何に

生る声が聞けたのも貴重で、そしてこの国際フォーラムでは「鎌倉を守り伝えるために」という副題が掲げられていますが、そのため

象的でした。鎌倉のすぐれた景観を生かした武家文化の重要性を認識させられました。特に遺産保護について市民の果たす役割が強調されたのが印象的でした。

鎌倉の世界遺産登録も第 2 回の国際会議が開かれ、いよいよ登録申請への詰が行われています。その中で行われた第 2 回国際フォーラムでは、「武家の古都・鎌倉」の世界遺産としての国際的な評価がよく分かりました。世界遺産の条件と世界の歴史的都市景観から鎌倉のすぐれた景観を生かした武家文化の重要性を認識させられました。特に遺産保護について市民の果たす役割が強調されたのが印象的でした。

編集後記

編集委員 / 大竹正芳 菊池威雄 後藤辰郎 佐藤江里子 高木規矩郎 都筑健一 能登原秀実 福澤健次 横岩宏志
デザイン / 立山長恵

鎌倉世界遺産登録推進協議会 ホームページ、只今更新中!
<http://www.shonan-it.org/KWH-kyogikai/>

古都鎌倉の世界遺産登録についての最新情報や、会報バックナンバー、世界遺産 MAP など、楽しい情報を満載しています。ぜひ、クリックしてみてくださいネ!

●事務局
〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10
鎌倉市世界遺産登録推進担当
Tel. 0467-61-3848
Fax. 0467-23-1085
E-mail: sekaiisan@city.kamakura.kanagawa.jp